

Q. どういう気持ちをもって推進協議会委員の活動をされていますか。

■地元のことを考える良いきっかけと思い委員となった。地元を離れた同世代の人たちが、どうしたら地元へ帰ってこられるか、魅力のあるまちになれるかを考え活動している。

■公募委員として参加しているが、正直なところ何をすれば輝くのか、輝いたといえるのかわからない状況。ジレンマを持ちながら活動している。

■数年前から社内での女性だけのチームを立ち上げて活動しており、女性ならではの視点から活性化するように取り組んでいる。活動の延長として意見を出し、少しでも貢献できればと思っている。

■故郷の衰退に危機感を覚え、もつと湯沢市が良くなればという思いで委員となった。活動の中で市側へ提案等行ったが、受け入れられていないと感じる部分がある。そのため活動の意味を感じにくい自分の糧になればと思っている。

■市外から市内の高校に通学している。幼少から湯沢市で過ごす機会が多く、自分にも何かできることがないか、少しでも活性化につながりたいと考えている。

■3年前に帰郷し、子育てしながら仕事をしており、同世代や若い人たちと話すことでリフレッシュできる場となっている。推進協議会として事業提案したことについて、意見交換をしたいと思っている。

Q. 湯沢駅周辺複合施設を活用して、若者や女性が活躍できるようなアイデアはないですか。

■コワーキングスペースやシェアオフィスを用意する。リモートワーカーや出張者が気軽にweb会議等、仕事ができる場所があれば良い。スタート

アップ企業は費用面や個人情報観点から会社の登記場所について悩んでいる場合がある。シェアオフィス等を登記もできる仕組みにすることで県内外から借りる人が増えて関係人口増加に繋がるのでは。法人住民税が市に入るというメリットもある。

■学生が気軽に利用できるカフェなどを併設する。仕事をする人もおしゃべりをする人も過ごしやすい雰囲気づくりは重要だと思う。

■学生や車がない人たちは移動手段が限られているので、タクシーなどの公共交通のサブスク（定額制）を整備するなど、複合施設や商店街に人が集まりやすい仕組みづくりも必要だと思う。

■当日の急な施設予約にも対応できるネット予約など、利用者が利用しやすい環境整備をしてもらいたい。

Q. 一度湯沢を離れても、また湯沢に戻ってきたいと思ってもらうためのアイデアはないですか。

■推進協議会で以前提案をした6つのうち、1つ（婚活サポート）が事業化となった。残りの5つの事業も大変良い内容だと思うので事業化を検討していただきたい。

■助成金の制度を利用して帰ってきたが、周知方法なども含めてもっと広めるべきだと思う。また、広報やチラシなどの紙媒体よりインターネットでの情報発信に力を入れてほしい。

■湯沢市の既存の資源や良さを活かし、魅力を感じてもらうための取り組みを進めることが理想の活性化策だと思う。

■給与面が低いので改善する工夫が必要。また、故郷を想う県外の湯沢市出身者を巻き込んだ活性化の仕組みを整備していくべきだと思う。

■子どもの頃から湯沢に戻ってくる機運を醸成させることが必要だと考える。

◎意見交換会を通して

今回の意見交換会では、推進協議会の活動を通じた意見のほか、今後建設される湯沢駅周辺複合施設を活用した若者や女性が活躍できるようなアイデア、湯沢市の移住・定住の話題など、多岐に渡った意見交換会であった。地元の魅力を高めて移住者を増やす取組や若者の活躍を支援する複合施設活用アイデア、リモートワーク等の環境整備、シェアオフィスの重要性など、具体的な政策につながる意見等もあり、課題を検証しながら今後の活動につなげていきたい。



たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございました。